

上尾市立原市小学校令和6年度 学校評価自己評価

令和6年度指導の重点に基づき自己評価を実施した。

あてはまる

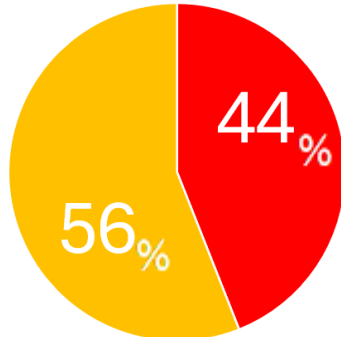
おおむねあてはまる

あまりあてはまらない

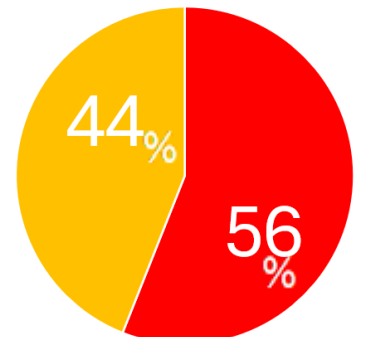
まったくあてはまらない

学校経営・学校教育目標

①学校教育目標の実現を目指し、学級経営、学習指導等に取り組んでいる。



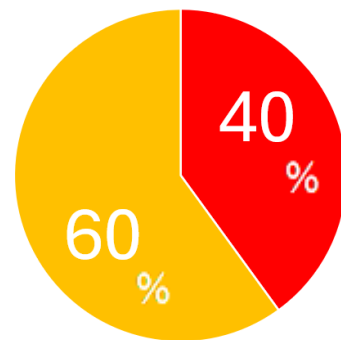
②各分掌や学年が連携協力して、学校運営に当たっている。



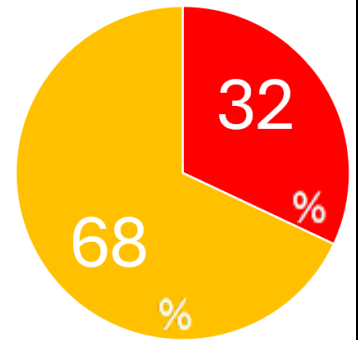
学校教育目標の実現に向けて、全教職員の共通理解のもと教育活動を行うことができた。また、一人一人が学級経営及び学習指導における具体的な方策を実践することができた。次年度も教育課程の改善を図るとともに、各部会や学年会の時間の確保に努め、さらに教育の質を高めていく。

(1) 確かな学力の育成

③見通しと振り返りのある授業を組み立てたり、児童に学ぶ意欲を実感させるために発問を工夫したりしている。



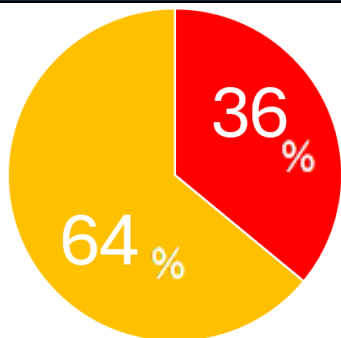
④体験的・問題解決的な学習を重視して、学習指導を行っている。



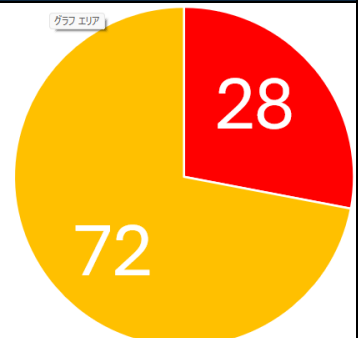
確かな学力を育成するために、見通しと振り返りのある授業を展開していた。体験的・問題解決的な学習の更なる充実に向け、目指す児童像「学びのつながりに気付く子」「人とのつながりを築く子」に近づくよう、校内研修等を通し教職員の指導力を向上させる必要がある。

(2) 豊かな心の育成

⑤児童が学校や地域で気持ちのよいさわやかなあいさつができるよう指導している。



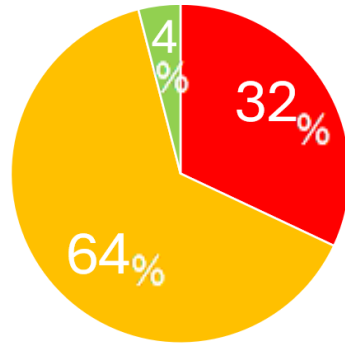
⑥道徳の授業を充実させ、児童の道徳的実践力を養っている。



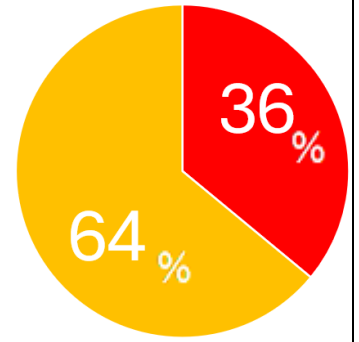
挨拶については、今後も指導を継続し、時と場に応じた気持ちのよい挨拶ができる児童を育成していく。道徳については、年間35回(1年生34回)の道徳の授業を、道徳的実践力を養うために授業を工夫したり、ローテーション道徳(教師を変更する)をしたりした。

(3) 健やかな体の育成

⑦ 体育授業の充実や積極的な外遊びの奨励等、児童の体力向上に取り組んでいる。



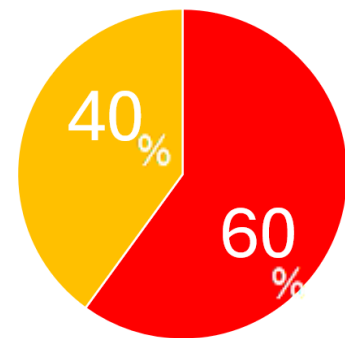
⑧ 保健・給食・体育環境を改善し、安心・安全な環境づくりに取り組んでいる。



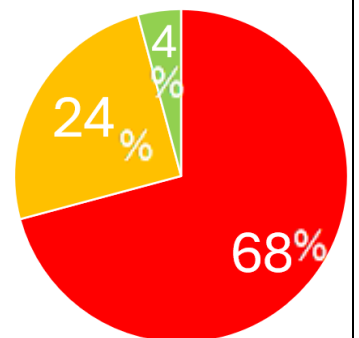
新体力テストの結果については、シャトルランの項目が県平均を大きく上回っており、ランランタイムの成果と言える。しかし、昨年度を下回る項目も多いため、次年度もランランタイムを奨励するとともに、体育の授業を中心に児童の体力向上の手立てを講じて行く必要がある。健康・安全については、学年の発達段階に応じた保健指導を行っている。

(4) 生徒指導・教育相談の充実

⑨ 定期的なアンケート、教育相談等により、いじめの実態把握や早期発見に向けて取り組んでいる。



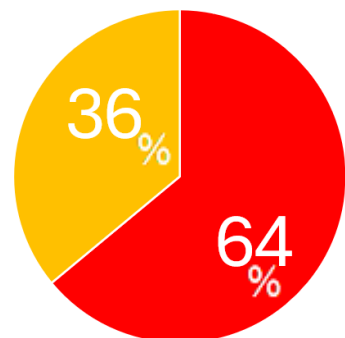
⑩ 児童がきまりや約束を守って生活できるよう指導している。



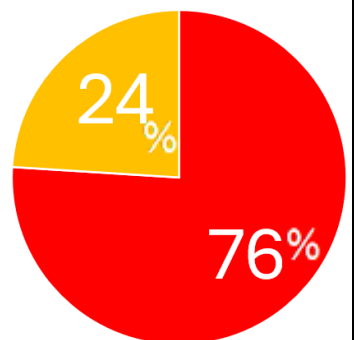
全職員が一体となって、いじめの早期発見、解決に向けて取りくんだ。きまりや約束を守って生活できるようになってきている。次年度も実態に応じた生徒指導目標を設定し、共通理解のもと指導を行っていく。

(5) 安全教育の徹底

⑪ 避難訓練等の実施により、児童の防災意識を高めるよう指導している。



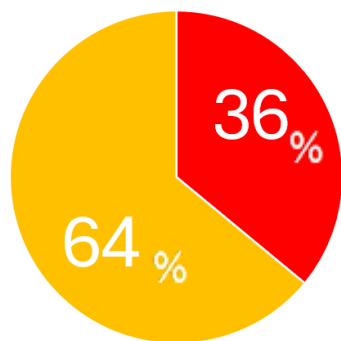
⑫ 安全点検（月1回）を着実に実施し、迅速に対応している。



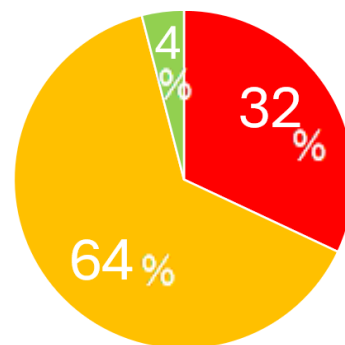
安全教育については、避難訓練の実施形態を毎回変更することで、児童が考え行動する力を身に付けることができた。全職員が担当する箇所の安全点検を着実に実施し、学校で修理できるものは、即時対応した。

(6) 開かれた学校づくりの推進

⑬学校の方針や取組、児童の様子等を保護者や地域へ発信している。



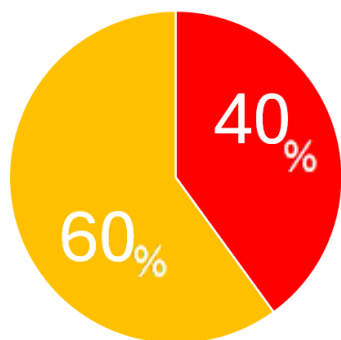
⑭学校運営協議会と連携して学校経営を推進するとともに、学校応援団や地域に協力を仰ぎ、児童の教育活動の充実に取り組んでいる。



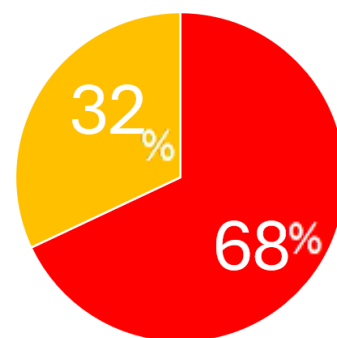
情報発信については、学校ホームページやさくら連絡網を通じて行うことができた。保護者や地域のニーズに沿った情報発信ができるよう努めていく。学校応援団や地域と連携した教育活動に課題が見られる。教職員がどのような場面や活動で協力を得られるかを把握し、計画的に進めて行く必要がある。

(7) 教職員の働き方改革

⑮教職員事故根絶のために心のゆとりをもてる働き方（会議の精選等）を実施している。



⑯計画的な年休取得を促進するとともに、ふれあいデー（月1回）、定時退勤ウィーク（年1回）の実施等）を実施している。



教職員事故根絶のために、倫理確立委員会を実施するだけでなく、心にゆとりをもって働くことのできる環境（会議を原則月曜日のみ、学年学級事務の時間確保）を整えた。ふれあいデーや定時退勤ウィークを実施できたが、計画的な年休取得回数は少なく、次年度への課題である。